施策・主な取組シート

基本方向	(1) 安心・安全でいきいきとした暮らしづくり	基本政策	1) 保健・医療の充実	
(1) 施策				
名称	02 医療の充実			
目標	乳幼児から高齢者までの市民が安心して医療サービスを受けられるよう、疾病の状況に応じて適切な医療が提供できる地域医療・救急医療体制の整備を図るとともに、地域の医療ニーズに対応した保健・医療従事者の確保をめざします。			
現状と課題	<p>少子高齢化の進展や疾病構造の変化、医療技術の進歩など保健医療を取り巻く状況が変化する中、急性期から回復期、在宅医療に至るまで、市民一人ひとりが地域内で安心して適切な医療サービスを受けられるよう、医療体制の整備が求められています。また、高齢化の進展が見込まれるなかで、医療機関と介護サービス事業者の連携を、より推進する必要があります。</p> <p>救急医療については、君津地域4市で構成する君津保健医療圏で一次・二次・三次の救急医療体制を構築し、君津木更津医師会や関係機関の協力のもと維持されていますが、医師の高齢化や医師・看護師の不足、輪番制で待機する医療機関の減少などにより、救急医療体制の維持が厳しい状況にあります。また、休日の在宅当番医制における小児科医不足への対応や、夜間の初期救急に対応する夜間急病診療所の充実が求められています。</p> <p>また、地域の中核医療施設である君津中央病院は、三次救急医療や高度医療、災害時の拠点病院として重要な役割を担うとともに、地域に必要な不採算医療や施設改修、設備更新に多額の経費が見込まれています。</p>			
課題解決の方向性	<p>地域の救急医療体制を維持するため、君津木更津医師会や関係機関と連携し、在宅当番医制、夜間急病診療所及び二次待機施設などの体制維持を図ります。また、災害時の医療体制を確保するため、県、君津中央病院、君津木更津医師会等との連携を図ります。</p> <p>保健・医療従事者の人材確保のため、君津木更津医師会や君津中央病院が行う看護学校の運営を支援するとともに、医師確保対策については、国・県の制度によるところが大きいことから、あらゆる機会をとらえて抜本的な対策を講じるよう、働きかけを行います。</p> <p>また、地域医療・介護の課題抽出と対策の検討、切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築を図ります。</p> <p>君津中央病院の経営改善や施設改修に係る計画推進について、君津地域4市と連携し、病院等と継続して協議を行うとともに、必要な経費負担による経営の安定を図ります。</p>			
(2) 主な取組				
No.1	名称	医療体制の整備		
	担当課	健康推進課・高齢者福祉課		
	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・市民一人ひとりが症状に応じた適切な医療サービスを受けられるよう、今後の医療体制のあり方について、君津木更津医師会や君津中央病院、関係機関との連携の強化を図りながら、君津地域4市で検討を継続します。 ・大規模災害時の応急医療救護体制を確立するため、君津木更津医師会との調整を図り、「災害医療マニュアル」の具体的な運用に向けた取り組みを進めます。 ・多職種で構成される「在宅医療・介護連携推進協議会」において、在宅医療・介護連携に関する医療介護関係者の研修及び地域住民への普及啓発等の事業を推進します。 ・重症度や緊急度に応じた適正な救急医療の利用について、正しい知識の普及や啓発活動を強化します。 ・君津中央病院の持続可能な経営のため、君津地域4市で必要な経費負担を行い、地域に必要な医療の確保に向けて支援します。 		
施策目標の実現に関する指標		現状値 (H30)	目標値 (H34)	設定の考え方
	医療施設従事医師数 (人口10万人あたり)	149人 (平成28年12月31日現在の君津保健医療圏の人数)	189人 (平成32年12月31日現在の君津保健医療圏の人数)	医療体制の充実を図るため、医療従事者の確保・定着が重要であるため、千葉県全体の現状値を目標値とします。
	就業看護職員数 (人口10万人あたり)	729人 (平成28年12月31日現在の君津保健医療圏の人数)	890人 (平成32年12月31日現在の君津保健医療圏の人数)	医療体制の充実を図るため、医療従事者の確保・定着が重要であるため、千葉県全体の現状値を目標値とします。